

平成21年度（第33回）東京電機大学
丹羽保次郎記念論文賞受賞候補者募集要領

東京電機大学 研究企画室

〒101-8457 東京都千代田区神田錦町2-2

Tel 03-5280-3523 Fax 03-5280-3582

平成21年度（第33回）東京電機大学 丹羽保次郎記念論文賞受賞候補者募集について

東京電機大学では初代学長故丹羽保次郎博士のご功績を記念して、昭和52年より電子通信工学関連分野において（情報工学等の関連分野を広く含みます）独創的な研究に従事し、かつ優秀な論文を発表した研究者に対して丹羽記念賞を授与しております。

平成14年度より丹羽保次郎博士の偉業を後世に伝え残す目的から、その名称を丹羽保次郎記念論文賞とすることにいたしました。

つきましては、平成21年度（通算第33回）丹羽保次郎記念論文賞受賞候補者を、別紙要領により募集しますので、受賞候補者をご推薦下さいますようお願い申し上げます。

平成21年5月

学校法人 東京電機大学
理事長 加藤 康太郎

東京電機大学
学長 古田 勝久

丹羽保次郎（1893～1975）

三重県松阪市出身。電気工学者。日本電気等を経て昭和24年東京電機大学の初代学長に就任。ファックスの発明等、有線、無線の写真電送装置を開発したほか、テレビ技術の発展に尽くし、昭和34年文化勲章受賞。日本の10大発明家に選ばれる。

「技術は人なり」の格言は東京電機大学の科学技術教育・研究の理念として受け継がれている。

平成21年度（第33回）丹羽保次郎記念論文賞受賞候補者募集要領

1. 受賞候補者の資格 情報工学等の関連分野を含む、広い意味の電子通信工学関係者のうち次に該当する者としてします。
 - (1) 大学院学生（修士課程及び博士課程）
 - (2) 大学院修了又は満期退学後2年（応募時において）以内の者
2. 対象となる論文 次の条件を満足するものとしてします。
 - (1) 掲載期間 平成19年9月1日～平成21年8月31日
 - (2) 著者 応募者の単著、又は共著の場合には本人の寄与が大部分のものとしてします。
 - (3) 次のような学会誌に掲載された1論文を対象としてします。
電気学会、電子情報通信学会、映像情報メディア学会、日本音響学会、情報処理学会、
応用物理学会、日本物理学会、IEEE等国内外の学会の学会誌及び論文誌等
3. 推薦 推薦者は大学院研究科委員長或いはそれに準ずる職の方としてします。
4. 審査 審査は審査委員会（審査委員長：東京電機大学長 古田勝久）において、提出された書類を中心にして行います。
5. 選考基準
 - (1) 論文の独立性・独創性・工学的有効性の見地から判断します。ただし、この賞は大学院生あるいは最近の修了者を対象としていますので、実用的価値については広い意味で将来実用につながることを考えられれば結構です。
 - (2) 選考に当たっては、単に対象論文だけでなく、本人の過去の業績、論文、特に学会等で発表された場合の実際の口頭発表者が誰であったか等も参考にします。
 - (3) 論文としてのまとまりを見ます。
 - (4) 実学を尊ばれた丹羽保次郎博士の賞に相応しいものを選考します。
6. 受賞者の決定
 - (1) 受賞者の決定は本年中进行い、受賞者とその推薦者に郵便をもって通知します。
 - (2) 受賞者は2名以内としてします。
 - (3) 受賞者には本賞と副賞を贈呈します。
7. 提出方法および提出期限
 - (1) 論文を含む全ての提出書類は、PDF形式にしたものをemailに添付し、下記担当までお送りください。（申請書式のダウンロード URL: <http://www.dendai.ac.jp/kikin/niwa/>）
 - (2) 推薦書の提出期限は 平成21年9月30日（水）必着 としてします。

以上

東京電機大学 研究企画室
丹羽保次郎記念論文賞 担当（能勢 志伸）
Tel : 03-5280-3523 Fax : 03-5280-3582
email : kenkyu-k@jim.dendai.ac.jp